新 刊

□高柳芳恵（文），つだかつみ（絵）：**わたしの研究（11）どんぐりの穴のひみつ** 142 pp. 2006. ¥1200. A5. 偕成社. ISBN:4-03-634730-6.

ドングリやクリを拾ってきて放っておくと，虫が穴をあけて出てくることは誰でも経験しているだろう．私も雑木林を歩きながら，夏になるとコナラの枝が若い実をつけたままたくさん落ちていて，しばらくするとクヌギもそうなることに気付いていた．割ってみると果皮の内側に小さな卵が産みつけられていて，物知りに尋ねたところ，ハイイロチョッキリゾウムシが産卵してから枝を切り落とすことを教えられた．ところがある日，卵でなくてトンネルがあり，芋虫型の幼虫がいるドングリを拾った．これはクリミガの幼虫と教えられ，自然は複雑なものだと感心していた．しかしガには枝を切り落とす能力はないのにと，ちょっと不審に思った．

本書はドングリに穴をあける虫について，拾ったドングリを保存し，出てきた幼虫を土に埋め，発生した成虫を確かめるという観察を，実に8年にわたって続けた記録である．その結果，穴は開く位置や大きさによって13種類もあり，そこから出てきた虫は16種類（ゾウムシ，ガ，キクイムシ，タマバチ，寄生バチ，正体不明）に達した．

著者は専門家ではなく，子育て中の主婦と言ってよい．単なる名前調べに終わらせず，根気のよい観察の結果，成書にはない発見がたくさんあるようだ．名前を専門家に尋ね，あとは本を読んで知ったつもりになるだけでは，自分の知識を増やすことはできても，共通の知識の mass を増やすことには貢献しない．それで終わらせずに，独自の観察を行うことの重要性を教えてくれる．文章は子供でもわかるような書き方で，マンガ的なイラストと共に気楽に読めるが，内容は豊富である．植物分野でも，こういう人材が出てきてほしいものだ．（金井弘夫）

□いわさゆうこ：**どんぐり見聞録** 255 pp. 2006. ¥1600. A5. 山と渓谷社. ISBN:4-635-23020-1.

月刊誌に連載した記事を主体にまとめたもので，ナラやカシのほか，ブナ，シイ，クリを含むブナ科にかかわるいろいろな話題を網羅している．

43の小文が、「見る」（生活のいろいろな時期の様子），「歩く」（その種類を観察できる場所），「食べる」（各地のドングリの食べ方），「遊ぶ」（遊び道具としてのほかどんぐり炭や染め物），「あれやこれや」の5章にまとめられており，わが国で見られるドングリの種類を網羅し，どこから読んでもよい．最後に「どんぐり本」10点と「参考文献」25点が挙げられ，巻末に「どんぐり絵巻」として，24種類のカラーイラストの折り込みがついている．読んで物知りになれる本である．（金井弘夫）

第81巻5号正誤 Errata in Vol. 81 No. 5

頁（Page）	列（Colum）	行（Line）	誤（For）	正（Read）
316	左 Left	↑2	西半部	東半部
316	右 Right	↓2–3	東部に多く 西部に少ない	西部に多く 東部に少ない